

2025年10月17日  
損害保険ジャパン株式会社  
株式会社 MEDEMIL

## 損保ジャパンと東京医科大学発スタートアップ MEDEMIL、業務提携を開始 ～安全運転を支援し、ドライバー不足問題の解決にも貢献～

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）と、株式会社 MEDEMIL（代表取締役社長：柳町 守、以下「MEDEMIL」）は、高齢者を含むすべてのドライバーが安心・安全に運転を続けられる環境の構築を目的とした業務提携（以下「本提携」）に関する覚書を締結しました。本提携により、両社がこれまで進めてきたドライバーの運転能力を科学的に評価する手法についての共同研究※を一層加速させ、研究成果の社会実装を本格的に目指します。

また、本提携を通じて、両社の強みを組み合わせ、ドライバーの運転能力を科学的根拠に基づき多角的に評価する新たな仕組みを構築します。これにより、高齢ドライバーの安全運転支援に加え、社会インフラを支える職業ドライバーの就労継続と健康起因による事故削減を支援し、深刻化するドライバー不足という社会課題の解決にも貢献していきます。

### 1. 提携の背景と目的

日本が直面する超高齢社会において、高齢ドライバーによる交通事故は依然として大きな社会課題です。一方で、自動車の運転は高齢者の社会参加や生活の質（QOL）を維持する上で重要な役割を担っています。さらに、物流や公共交通の分野では、職業ドライバーの高齢化や担い手不足が深刻な社会問題となっております。安全を確保しつつ、一人ひとりのドライバーが長く活躍できる環境の整備が急務です。また、新たな移動手段として期待されるライドシェアの普及が進む中、乗客の安全・安心を確保するため、ドライバーの運転能力を客観的に評価し、安全運転を管理する仕組みの構築が喫緊の課題となっております。

このような背景から、科学的根拠に基づき個々の能力に応じた支援を行うことで、すべてのドライバーが安全に長く運転を続けられる「運転寿命の延伸」の実現が不可欠です。今回の提携は、これらの複合的な社会課題に対し、両社の強みを生かして具体的な解決策を提示することを目的としております。

### 2. 本提携の概要

本提携では、損保ジャパンが保有する、ドライブレコーダー等から得られる運転挙動データや、長年の事故対応を通じて蓄積したリスク知見と、MEDEMIL が開発した「MEDEMIL Drive®」による眼球運動データを組み合わせます。これにより、ドライバーの運転能力を総合的に評価する新たな仕組みの構築を目指します。両社の強みを組み合わせることで、個人のドライバーから職業ドライバー、さらにはライドシェアドライバーまで、より多くの方々に科学的根拠に基づいた安全運転支援を提供することが可能となります。

- **損保ジャパンの強み：**

長年にわたる保険事業で培った膨大な顧客基盤およびデータ、リスクアセスメントのノウハウ、

そしてSOMPOグループが持つ介護事業などのネットワークを有しています。

- **MEDEMIL の強み：**

MEDEMIL が開発した「MEDEMIL Drive®」は、ゴーグル内を90秒程度覗くだけで、視界の広さ・深視力・明暗コントラストなどの運転に必要な眼の機能に加え、認知・注意力・判断力などをAIを用いて複合的に評価し、運転能力を高速・簡便に測定することができます。

### 3. 今後について

個人のドライバーや職業ドライバーを対象とした共同研究や実証実験を進め、評価モデルの精度向上と効果的なフィードバック手法の開発に取り組みます。その成果を踏まえ、ライドシェア事業者を含む他のパートナー会社とも連携することでサービスの本格展開に向けた計画を具体化していく予定です。

将来的には、運転能力の評価だけでなく、個々の特性に合わせたトレーニングプログラムの提供や、SOMPOグループの介護サービスなどとも連携し、移動手段の確保から免許返納後の生活サポートまで、ワンストップで支援を提供できる体制を構築することを目指していきます。

※「運転の人間ドック」構想の実現に向けた共同研究に、MEDEMIL が参画

[https://www.sompo-japan.co.jp/-/media/SJNK/files/topics/2024/20241120\\_2.pdf](https://www.sompo-japan.co.jp/-/media/SJNK/files/topics/2024/20241120_2.pdf)

以上